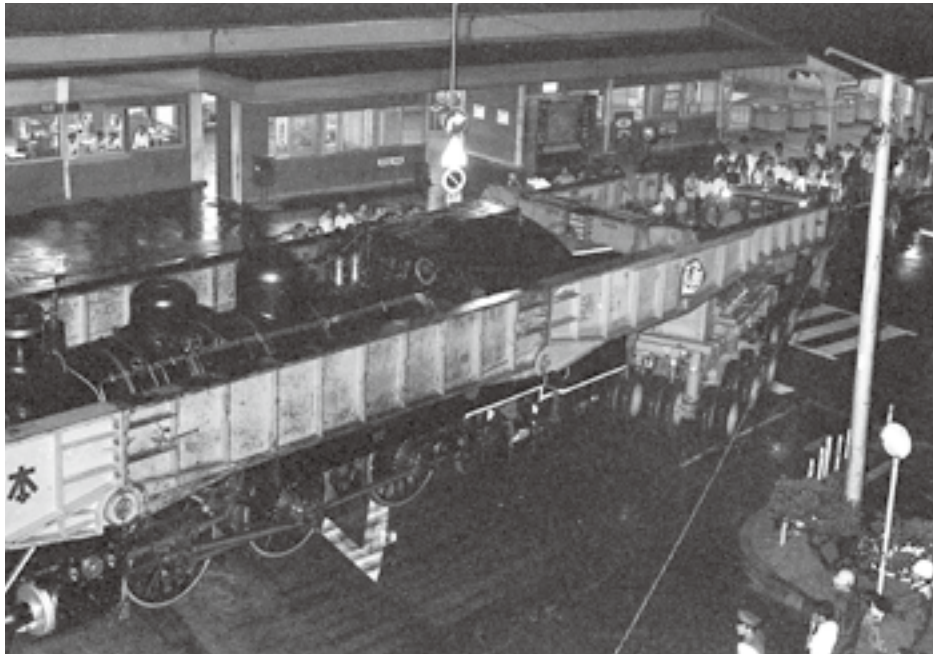


あの頃の津山

蒸気機関車の移送

(昭和51年)

写真 津山郷土博物館所蔵



現在、南小学校（昭和町2丁目）に展示されているC11型蒸気機関車が、JR津山駅から南小学校に移送される時の1コマです。

大きなトレーラーに載せられて、津山駅前のロータリーを進む様子を大勢の人が見守っています。作業は深夜に行われ、大雨の中を約1時間かけて移送されました。

この機関車は、昭和10年に山口県で製造され、昭和23年7月からは津山機関区で活躍しました。さらに、昭和37年に開催された岡山国体では、天皇のための特別列車「お召し列車」を牽引する役割を担いました。しかし、津山線のディーゼル化によって、昭和46年3月、「サヨナラSL」の運行を最後に、蒸気機関車は津山から姿を消すことになります。

その後、福島県の会津若松で約2年間走り続けましたが、昭和50年1月、多くの人と荷物を運び続けた旅客列車としての役目を終えることとなりました。

引退した蒸気機関車の多くが解体される中、津山市は、この機関車の保存を決めて、当時の国鉄から借り受けることになります。



南小学校校門脇に展示されている蒸気機関車

今はもう黒煙を上げて走ることはありませんが、子どもたちに囲まれながら、移りゆく津山を見守っています。

このコーナーに掲載する懐かしい津山の写真を募集しています

図津山郷土博物館
☎22・4567

つやき編集室

ウールのセーターのサイズが、もう少し小さくならないかな。洗って乾燥機にかけたら、縮むだろう。…小さくなりすぎてしまった。少し元に戻せないかな。ヘアトリートメントを溶かした水に浸すと戻るといいな。…戻りすぎてしまった。水洗いだけしてみよう。…また、小さくなりすぎた。…

今月号の「年末年始の公共サービス」の市関係施設のページの校正をしていて、まっすぐ縦に並んだ「休」の文字をじっと見ていたら、鳥の足跡に見えてきた。そろそろまとまったお休みをもらった方がいいのかな。…土・日も取材などで、丸一日お休みができる日が少なかったからかな。…

11月号のきらめく津山人の取材が縁で、つやまこちTVに出演しました。いざ放送席に座ると、緊張のため、視線はキョロキョロ、表情はガチガチ、台詞は力ミカミ改めて放送に携わっている人たちの偉大さを感じました。あつ、皆さん、録画配信を見ちゃダメですよ。わたしの顔がバレちゃう(修)

今月の表紙

宵を照らす
子どもの眼差し
10月26日
徳守神社宵祭り

編集・発行（毎月10日発行）

津山市総合企画部秘書広報室（市役所3階）〒708-8501 岡山県津山市山北520番地

☎0868-32-2029 ☎0868-32-2152 ✉kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページで閲覧できます

<http://www.city.tsuyama.lg.jp/>



津山市ホームページPC版

☆秘書広報室のフェイスブックはこちら
<http://www.facebook.com/city.tsuyama.kouhou>



秘書広報室フェイスブック



広報つやまは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル(雑誌)にご協力ください